

関係各位

京都府病虫害防除所長  
( 公 印 省 略 )

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

## 発生予察特殊報第 3 号

病虫害名 ナシコスカシバ(仮称) *Synanthedon* sp.  
作物名 ナシ  
発生地 域 丹後地域の一部  
発生面積 87a

### 1 発生確認の経過

平成 29 年 1 月中旬に京丹後市内のナシにおいて、新梢基部周辺の樹皮下を食害するチョウ目幼虫が発生しているとの連絡があった。採集した幼虫を鳥取大学 農学部 生物資源環境学科 中 秀司准教授に BLAST のバーコード領域の検索による同定を依頼した結果、該当種は判然としなかった。さらに、同年 6 月中旬に幼虫の発生を確認したほ場において、成虫及び蛹を採集し、同氏に外部形態の観察により同定を依頼した結果、国内では報告事例のないナシコスカシバ(仮称)であることが確認された。

### 2 被害の特徴

幼虫(写真 1) が側枝候補枝となる新梢基部に穴を開けて侵入し(写真 2)、新梢基部周辺の樹皮下を食害する。食害された側枝候補枝は、誘引する時に食害部から折れる(写真 3)。

### 3 生態

成虫(写真 4) の体長は約 15mm、前翅長は約 10mm。国内で発生が確認されているコスカシバ属ではキオビコスカシバに若干似るが、翅の帯の位置が全く異なる。

雄成虫は腹部第 2、4 及び 5 節に黄色い帯があり、第 4 節の帯は太い。雄成虫の腹端の毛束は黒色で、外縁は黄色である。腹部裏面の 3 - 4 節は一様に淡いクリーム色で、第 5 節にも同じ色の斑紋がある(写真 5)。雌成虫の外部形態及び詳細な発生生態は不明である。

#### 4 防除対策

(1) 本種に対する登録薬剤はないが、他のチョウ目害虫の防除を実施することにより本種の発生は抑えられている。



写真1 ナシコスカシバ幼虫



写真2 幼虫の侵入口  
(写真提供：生産者)



写真3 食害部から折れた新梢基部  
(写真提供：生産者)



写真4 ナシコスカシバ成虫  
(写真提供：鳥取大学農学部)

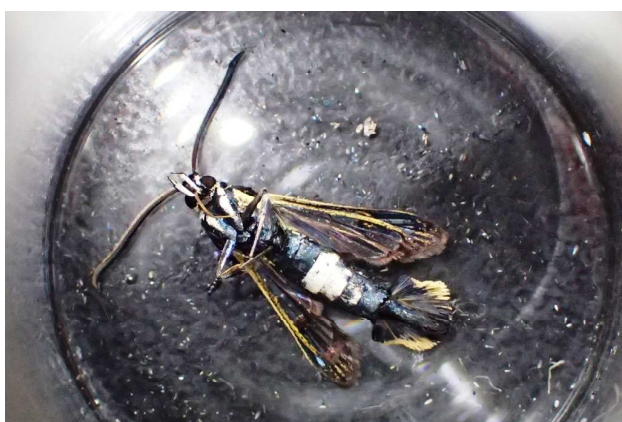


写真5 ナシコスカシバ成虫（裏面）  
(写真提供：鳥取大学農学部)



写真6 ナシコスカシバ蛹  
(写真提供：鳥取大学農学部)